

階層的地域循環圏イメージ図（行政単位）

➤ 循環の範囲を行政単位で区切った場合の整理は以下の通り。

国際（東アジア）での循環

国単位の循環

ブロック単位の循環

都道府県単位の循環

市町村単位の循環

○循環資源:

地域で発生する循環資源。通常は一般廃棄物として収集、処理される。
 ・分別の不徹底により廃棄物として扱われている循環資源、
 ・家庭で生じる不要物や修理を要するもの（リユース・リペア対象品）、
 廃食用油等の日常生活において発生する循環資源、
 ・林地残材／規格外食品／食品副産物等の未利用バイオマス資源などがある。

○現行の施策例:

- 各種個別リサイクル法
- 循環型社会形成推進交付金等
- エコ・コミュニティ事業
- エコタウン事業
- バイオマス・タウン
- バイオマス・ニッポン総合戦略

○循環資源:

一つの市町村単位では技術的、経済的に再資源化が困難な循環資源。
 都市部での食品残渣等製造業から排出される副産物や農村部での間伐材等。

○現行の施策例:

○循環資源:

質的及び量的に、地理的にまとまりのあるブロックごとに発生し、その需要もある循環資源（金属や土石など）。

○現行の施策例:

- リサイクルポートの推進
- 広域認定制度
- PCB処理

○循環資源:

質的及び量的に、輸送のコストや処理特殊性を勘案しつつ環境産業の集積した地域において処理することが有効な循環資源（金属や土石、処理困難物など）。

○現行の施策例:

○循環資源:

国際分業の推進によって適切な循環資源の活用が図られるもの。労働集約的なものや高度なリサイクル技術を要するものなど、各国の特性（人件費、技術力等）を活かした循環資源の利活用を推進する。
 我が国では、製品から抽出できる微量の希少金属（例：インジウム）など、他国ではリサイクル困難な、高度なリサイクル技術を要する循環資源の活用が有効。

○現行の施策例:

- 3Rイニシアティブの国際的な推進
- ゴミゼロ国際化行動計画の見直しと実施
- 東アジア循環型社会ビジョンの策定
- バーゼル条約の履行
- UNEP「天然資源の持続可能な利用に関する国際パネル」支援

※色分け注
 ■: 振興策
 ■: 規制（緩和）策

※経済合理性や技術的可能性などの状況によって、循環の範囲は異なる。